

■外出時の対策

●泥棒を防ぐには、何よりも留守だと悟られないことが大事

「郵便受けに郵便物や新聞をためたままにしない」、「雨戸を閉じたままにしない」、留守番電話の応答メッセージは、「外出中」とせず、「ただいま来客中」などと工夫し、不在であることを悟られないことが大事です。

また、隣近所の方に、時々家の様子を見てくれるよう頼むことも必要です。

●ゴミ出しや近所の買い物など、短い時間でも施錠は確実に

泥棒はわずかな時間で侵入し金品を奪っていきます。少しの間だからと油断せず、施錠をして出かけましょう。

●照明器具等の活用

夜間まで家を空ける場合は、一部の部屋の灯りをつけたままにしたり、テレビやラジオをタイマーでつけるなどの工夫をしましょう。

■その他の対策

●在宅中だからと安心せず、ドアや窓の鍵をかける。

●郵便ポストにも鍵をかけるなど、個人情報に注意する。

■地域全体で取り組むことが大切

●泥棒は対策の弱い家を狙います。自分の家だけではなく、「自分が住む地域に泥棒を侵入させない」よう、一戸一灯運動など地域全体で防犯に取り組むことが大切です。

●周囲の道路やゴミ集積場周辺の環境美化に努めることも大切です。地域住民が地域内のことに関心を持ち、連帯感があることをアピールすることによって、泥棒が寄り付きにくくなります。

■家の周囲の対策

●塀を低くしたり垣根の刈り込みをして、周囲からの建物の見通しをよくする。

●番犬を飼う。

●砂利など、歩くとき音をたてるようなものを通路等に敷きつめる。

●より音が出やすい、防犯用の砂利も売られています。

●2階への足場となるような物を放置しない。

●物置やエアコンの室外機等が2階から侵入する際の足場となります。

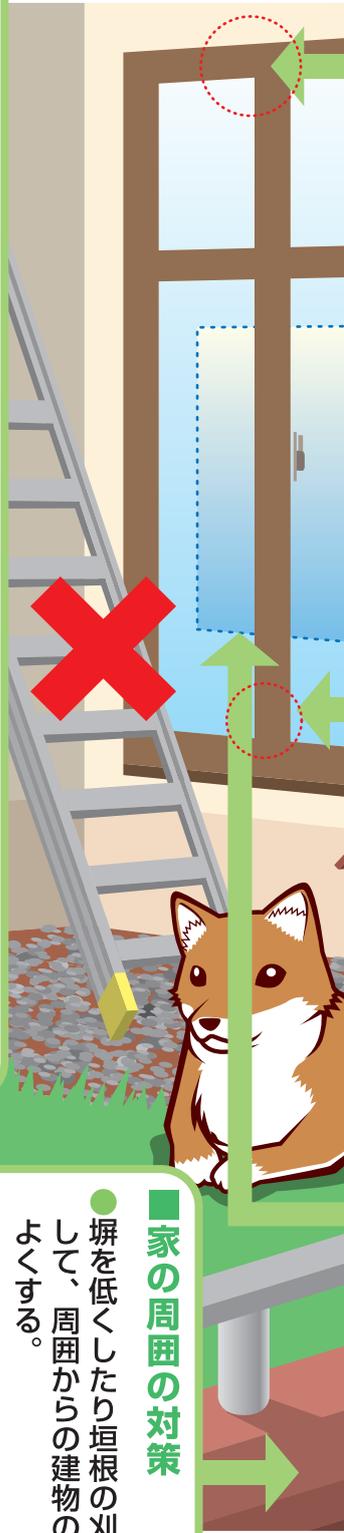
●防犯カメラや防犯センサー付きライトを取り付ける。

被害に遭ってしまったら

●玄関や窓、廊下など、犯人が触ったり歩いたりした可能性のある部分には触れないようにして、すぐに警察に連絡する。

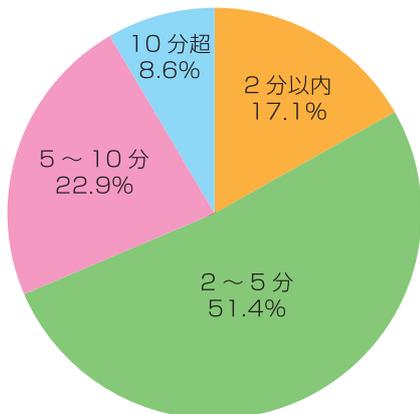
●家の中で物音がするなど犯人が潜んでいる可能性がある場合は、すぐに安全な出口から外に出て110番通報する。

●犯人に出くわした場合には、安全な場所へ逃げることを最優先に考える。



泥棒が犯行を諦める理由と時間

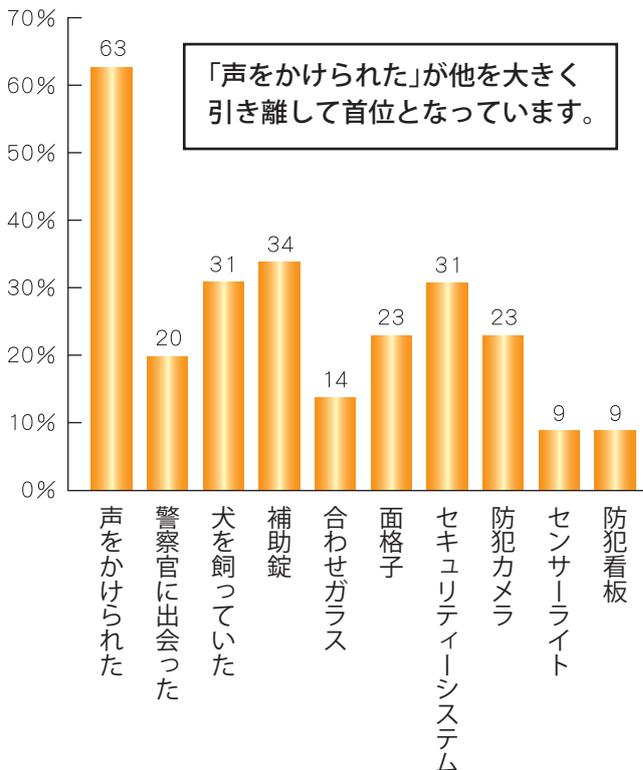
■泥棒が侵入を諦める時間の比較



ガラスを破ったり鍵を開けたりするのに時間がかかるほど、侵入を諦める率は高くなります。侵入に5分以上かかると約70%の泥棒が侵入を諦め、10分以上では約90%が諦める、という調査結果が出ています。防犯対策は、「最低5分間は持ちこたえる対策」が必要です。

(出典：(財)都市防犯研究センターJUSRI リポート別冊 No.17 防犯環境ハンドブック)

■泥棒が犯行を諦めた理由



「泥棒が嫌がる 4 要素」



住宅防犯対策「警察官が教える泥棒の嫌がる家」群馬県公式 YouTube チャンネル「tsulunos」で動画配信中です！



車上ねらい

手口と現状

本県における令和5年中の車上ねらいの被害は、524件で、前年に比べて74件(16.4%)増加しました。このうち61.3%がカギを掛けずに被害に遭っています。

また、被害品ではバッグ・財布類が最も多く、携帯電話機やカード類、通帳、保険証なども被害に遭っています。

発生場所別では、自宅駐車場・店舗駐車場・道路上でも発生しています。その他、空き地や学校でも発生しています。その多くは人通りの少ない道路やひと気のない駐車場に止められた車が被害に遭っています。

被害に遭わないために

- 車から離れるときは、短時間でも窓を確実に閉めドアをロックする。

- 監視の行き届いた駐車場を利用し、路上駐車しない。また、夜間は明るい場所に駐車する。

- 貴重品、現金、バッグ類を車内に置く

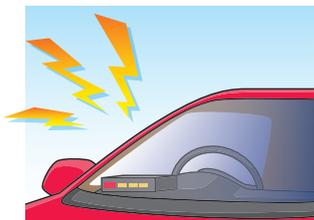
たままにしない。

犯人は、「バッグの中には現金が入っている」と思い、ガラスを割って盗みます。車内に置いたままにしないようにしましょう。

- ドライブレコーダーを設置すれば、記録されるだけでなく、犯行を思いとどまらせる効果も期待できる。



- 「音と光」を出すセキュリティ機器（盗難防止警報装置）などを車に取り付け、万一時、犯行を諦めさせる。



被害に遭ってしまったら

- 警察に被害届を出す前には、なるべく車内に触れないようにする。

- クレジットカードなどが盗まれた場合

は、カード会社への連絡を行う。
(24時間可)

- 盗難保険で対応する場合は、契約保険会社などに連絡して指示を受ける。

- 窓ガラスなどが壊された場合、ガラス片が車内に散らばっているので不用意に乗り込まない。

- 不審な人を見かけた場合は、一人で対応せず近くの人に協力を求めるなどし、不審者の人相や特徴、逃走車両の車種・車両ナンバー・塗色等を警察に通報する。



自動車盗

手口と現状

本県における令和5年中の自動車盗難被害は、101件で、前年に比べて42件(18.0%)減少しました。

このうち、鍵を付けたままで盗難被害にあったものが、18件で約1割を占めています。車から離れる時は、必ず鍵を抜き、ドアロックをしましょう。

盗難被害にあった車両のうち、乗用自動車は69.6%、貨物自動車は12.0%で、建設用重機や農耕機も盗難被害に遭っています。また、盗難防止装置を設置していても被害にあう場合もあります。その多くが常習の窃盗団によるもので、二重三重の防犯対策をとる必要があります。

被害に遭わないために

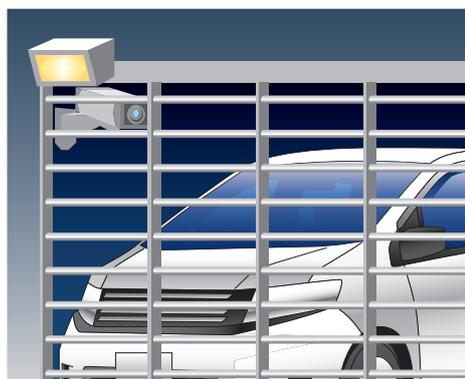
● 駐車場対策

● 人が近づくと点灯するセンサー付きライトを取り付ける。

● 外灯や防犯カメラを取り付ける。

● 自宅等の屋内や道路など周囲からの見通しを良くする。

● 敷地内への侵入防止対策として、出入口にシャッターや門扉を取り付ける。(特に常習の窃盗団による犯行に対しては、強度のある門扉とチェーンロックの二重対策が効果的です。)



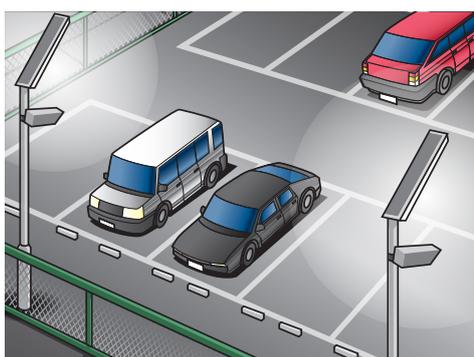
● 外出先や作業現場での対策

● 短時間でも車から離れるときは、必ずエンジンを切り、鍵を抜いてドアロックをする。(買物や送迎等の際、エンジンをかけたまま車から離れることは絶対にやめましょう。)

● 車内に貴重品、荷物を置きっぱなしにしない。(車内に置いておけば大丈夫と過信しないでください。財布やバッグ、スマートフォンなどの車内放置は、車上ねらい等のターゲットとなります。)

● 駐車する際は、窓は完全に閉める。(窓を少しでも開けておくと、泥棒はその隙間を狙います。)

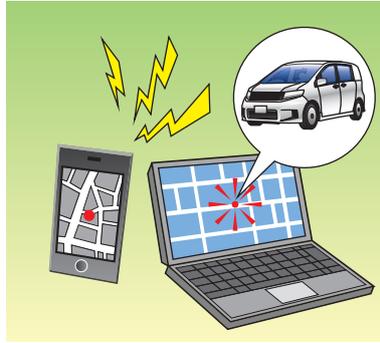
● 明るく監視の行き届いた駐車場を選ぶ。(夜間照明のない駐車場や路上は、泥棒が犯行しやすい環境です。駐車する場所によって狙われやすさが変わります。)



● 貨物自動車、建設用重機、農耕機は、工事現場や畑などに放置せず、車庫等に駐車して、鍵を抜いて保管しておく。(窃盗団は特定の車種を狙う傾向があります。同一地域から複数台の被害が出ることもあるため、先手を打った防犯対策が効果的です。)

● 愛車対策

● GPSを装着する。(純正品とは別に、見つげづらいところに装着する。)



● スマートキーの電波を遮断する。(スマートキーから発せられる微弱電波を悪用されないため、スマートキーをアルミ缶などの金属製の容器に入れて保管しましょう。)



● 衝撃感知式警報機など、盗難防止用警報機を取り付ける。

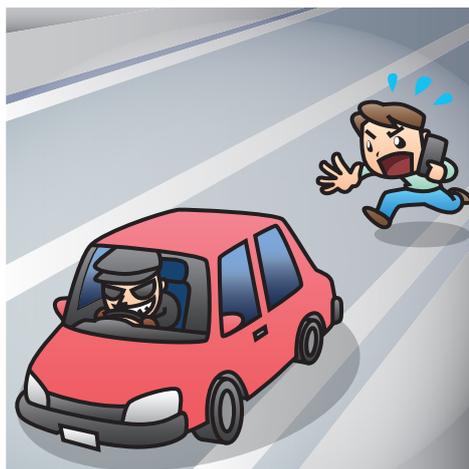


● ハンドルロックやタイヤロック等の器具を取り付ける。



被害に遭ってしまったら

● 速やかに警察に通報し、被害を届け出る。(車検証のコピーを自宅に保管しておく。)



● 追跡する場合には、無理をせず、警察に逃走方向を知らせる。

● 契約保険会社、運輸支局などにも盗難の連絡をする。

自転車盗・オートバイ盗

手口と現状

●自転車盗

本県における令和5年中の自転車盗難被害は、1,548件で前年に比べて189件(13.9%)増加しました。被害に遭った自転車の69.5%が鍵を掛けていない状態でした。また、駅周辺での被害が多く、被害者の68.3%が学生(小・中・高・大・専門)で、そのうち約6割が「高校生」です。

●オートバイ盗

本県における令和5年中のオートバイ盗難被害は78件で前年に比べて24件(44.4%)増加しました。このうち、鍵を付けたままで被害にあったものが26.9%でした。鍵を抜いても、いわゆる「直結」という方法でエンジンを掛け、盗む手口もあります。

被害に遭わないために

●自転車盗

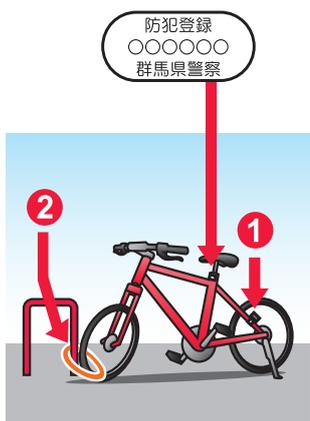
- 鍵かけを徹底する。自転車を止めるときは、短い時間でも必ず鍵をかける。

- 鍵は2つかける。

鍵は、前後輪の片方にかけるだけではなく、ワイヤー錠やチェーン錠、金属製のU字ロックなどで二重ロックを心がけると効果的。

- 路上に放置しない。

- 防犯登録をする。



●オートバイ盗

- 短時間でもオートバイから離れる時は必ずエンジンキーを抜き、ハンドルロック

- クをかける。

- ワイヤー錠やチェーン錠、金属製のU字ロックなどをかけて車輪を回転できなくしたり、ポールなどの固定物にくくりつけると効果的。



被害に遭ってしまったら

- 被害自転車やオートバイの車体番号、防犯登録番号を確認し、警察へ届ける。(盗難に備え、あらかじめ、番号を控えておくことが大切です。)

- 盗難届を出した自転車やオートバイを自分で見つけたときは、警察に連絡し、その後の対応を確認する。